

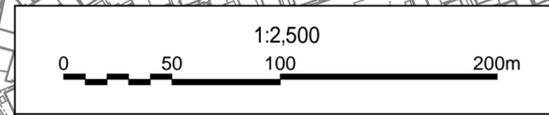
番号	変更前	中野区決定		防火	面積 (ha)
		高度	最低限高度		
①	変更前	3高	指定なし	防火	2.0
	変更後	3高	7m	防火	
②	変更前	2高	指定なし	準防火	3.2
	変更後	2高	7m	防火	
③	変更前	指定なし	指定なし	防火	0.6
	変更後	指定なし	7m	防火	
④	変更前	2高	指定なし	準防火	0.3
	変更後	2高	7m	防火	
⑤	変更前	2高	指定なし	準防火	11.0
	変更後	2高	7m	防火	
⑥	変更前	3高	指定なし	防火	2.1
	変更後	3高	7m	防火	
⑦	変更前	2高	指定なし	準防火	0.9
	変更後	2高	7m	準防火	
⑧	変更前	2高	指定なし	準防火	0.2
	変更後	2高	7m	防火	



凡 例

----- 行政界

防火 防火 準防火地域
 高度地区(最高限度) 3高
 高度地区(最低限度) 7m



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2,500の地形図（道路網図）を使用して作成したものである。ただし、計画線は、都市計画道路の計画図から転記したものである。無断複製を禁ず。（承認番号）20都市基街 第68号、平成20年10月24日（承認番号）20都市基交 第390号、平成20年10月10日

中野区都市計画マスタープラン改定に係る第二回意見交換会について

平成20年10月27日から11月24日にかけて開催した「都市計画マスタープランの改定」及び「みどりの基本計画の改定」に関する意見交換会の結果について整理すると、以下のとおりである。

（1）意見交換会の概要

会 場	会 場	参加者数
南中野地域センター	平成20年10月27日(月)夜間	4人
沼袋地域センター	平成20年10月28日(火)夜間	12人
弥生地域センター	平成20年10月29日(水)午前	0人
東中野地域センター	平成20年10月30日(木)夜間	14人
鍋横地域センター	平成20年11月4日(火)夜間	4人
上高田地域センター	平成20年11月5日(水)夜間	7人
桃園地域センター	平成20年11月6日(木)夜間	16人
東部地域センター	平成20年11月7日(金)午前	4人
大和地域センター	平成20年11月11日(火)夜間	2人
昭和地域センター	平成20年11月12日(水)午前	7人
新井地域センター	平成20年11月12日(水)夜間	1人
上鷺宮地域センター	平成20年11月13日(木)夜間	13人
野方地域センター	平成20年11月14日(金)夜間	6人
区役所 7階会議室	平成20年11月16日(日)午後	9人
鷺宮地域センター	平成20年11月18日(火)夜間	12人
江古田地域センター	平成20年11月19日(水)午後	2人
弥生地域センター(追加開催)	平成20年11月24日(月)午後	6人
合 計	—	119人

（2）意見提出用紙等による意見概要（意見提出用紙・メール・FAX等）

会 場	提出人数	提出意見延べ件数
南中野地域センター	1人	2件
東中野地域センター	3人	4件
上高田地域センター	5人	10件
桃園地域センター	6人	7件
東部地域センター	17人(後日提出を含む)	41件
上鷺宮地域センター	3人	6件
野方地域センター	2人	6件
鷺宮地域センター	2人	5件
合 計	39人	81件

意見提出方法	提出人数	提出意見延べ件数
区民の声	2人	4件

(3) 意見交換会における主な意見の整理

【区全体の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
全般的事項	現行マスタープランで示されている地域の課題は、今も通用する。まちの課題に対応する実現方策について、都市計画マスタープランの中に盛り込んでいくべきだ。	(ご意見として承りました。)
	現在の都市計画マスタープランは、15の地域センターごとに区民意見を積み上げて策定したものである。改定にあたってその意義を十分考慮すべきである。	そのように致していきます。
住環境	高層建築は、近隣の日照確保や電波障害、防災まちづくりの観点から、いろいろ問題がある。高さ制限を設けてもらいたい。	(ご意見として承りました。)
みどり・環境	中野はみどりが少ないので、良好な住環境形成のために屋敷林やみどりの多い住宅地を増やすことを推進してほしい。	(ご意見として承りました。)
	個人の緑化だけに頼るのは難しい。地球温暖化対策のためにも公共用地で積極的に緑化推進を行うように取り組んでほしい。	東大海洋研跡地、本町郵政省宿舍跡地などの公共用地の緑化を進め、また、建物共同化によりできた空間の緑化を誘導します。
その他	国際化の時代に対応したまちづくりの視点も必要だ。(外国人が訪れ、住み、働きやすい環境づくり)	— (意見提出用紙)

【南中野地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
防災まちづくり	南台には木造住宅が多く残っている。まちの安全を考えれば積極的に不燃化を進めるべきであるし、狭あい道路の拡幅整備も積極的に行ってほしい。	建物の不燃化や耐震化誘導、狭あい道路の拡幅等の課題については、都市計画マスタープラン改定案に盛り込んでいきます。
	身近なところに、水、食料、寝具、薬品等の備蓄場所を確保できる場所を設け、また、震災復興にも積極的に取り組んでほしい。	一定の場所に防災備蓄倉庫があります。震災復興も含めて、地域の皆さんが安全に暮らせるようなまちづくり方針について考えていきます。
	区は無料耐震診断を実施しているが、耐震補強への助成も、さらに積極的に行ってほしい。	耐震補強工事に関する補助・助成について検討しています。防災まちづくりに関して都市計画マスタープランで積極的な位置づけを行っていきます。
道路・交通	中野通りは狭く、歩道も自転車やバイクで歩きにくい。駐輪を取り締まり、安心して歩ける歩道づくりに努めてほしい。	(ご意見として承りました。)
小中学校の再編	学校が統廃合した跡は、樹木を残したり、公共のオープンスペースとして利用できるようにしてほしい。	(ご意見として承りました。)

【沼袋地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
道路・交通	沼袋駅から新青梅街道への商店街は、バスが通るのにととも狭い。高齢者が安全に歩けない。	西武新宿線沿線まちづくりの中で具体的な検討を行います。都市計画マスタープランの改定案の参考とさせていただきます。
防災まちづくり	大雨のときは下水がマンホールから溢れてしまうことが何度もある。ぜひ対応してほしい。	都市計画マスタープランの中で防災まちづくりの方向性を盛り込みたいと思います。
みどり・環境	平和の森公園と妙正寺川側道との間にあったつつじの木が河川整備で切られてしまった。みどりや景観保全として良かったので、ぜひ復活してほしい。	河川改修が終わると、またつつじやハナミズキの木が植えられると聞いています。河川は水辺とみどりの軸として考えていきます。
	大きな屋敷がなくなると、樹木が切られ緑が減ってしまう。樹木は切らないで残せるようにしてほしい。	(ご意見として承りました。)

【東中野地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
全般的事項	高層化を進め人口密度を高くするまちづくりでは、安全・安心が吹き飛ばされる。建物建設ばかり第一に考えないでほしい。	— (意見提出用紙)
土地利用	山手通り沿道は高度利用し、一方で良好な住環境を保全しファミリー層も増やす。	— (意見提出用紙)
賑わい・活力	東中野駅前整備で、駅ビルができた結果、地元商店街の賑わいや活気等がなくなるようなことになってほしくない。	都市計画マスタープランとして、東中野駅周辺の賑わいと活力づくりの方針を考える中で、検討します。
住環境	資料に、土地の高度利用・有効利用という言葉が頻繁にでてくる。今住んでいる人たちが大事にして、良好な中層住宅を進めていくことも考えてほしい。	住民や土地所有者の皆さんの意見を踏まえて検討します。駅周辺などの拠点や幹線道路沿道等は土地を有効利用する必要があると考えています。
防災まちづくり	第三中学校や東中野小学校の跡地を、広域避難場所として活用してほしい。	広域避難場所は新宿区の落合にあるが、学校跡地についても避難場所としての機能を確保できるようにしています。
	学校跡地に関しては地域に身近な施設なので、住民のためのオープンスペースとして残してほしい。	(ご意見として承りました。)
	避難施設も重要だが、建物の耐震補強を積極的に行うべきで、住民もそのために自ら努力すべきである。	(ご意見として承りました。)
道路・交通	早稲田通りの都市計画道路の拡幅整備はなかなか進まない。区は積極的に対応してほしい。	早稲田通りは都道ですが、拡幅整備はまだ事業決定されていません。都市計画道路の事業化の課題について考えていきます。
	東中野駅の東口はバリアフリーになっていない。ぜひ対応してもらいたい。	東口のバリアフリー化の必要性を認識しています。JRにもその旨を話しています。
推進方策	まちづくりは、地域住民が自ら行うもので、行政はリーダーシップをとらず、住民をサポートする立場でいてほしい。	— (意見提出用紙)

【鍋横地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
賑わい・活力	商店街にマンションが建つと、まちの賑わいが途絶えてしまう。1階は店舗にして商店が連続するよう誘導してほしい。	(ご意見として承りました。)
	鍋横地域は、バス交通が便利なので、休日はみんな新宿や杉並方面へ買い物に出してしまう。人々が休日にもまちに出て、買い物したり、憩える空間づくりが大切だ。	(ご意見として承りました。)
	鍋横商店街は、昔は大変賑わいのあった地区だ。そうしたまちの歴史や地域特性を活かしたまちづくりを誘導してほしい。	まち固有の歴史や文化を活かしたまちづくりは重要だと考えます。
	高齢者や子ども連れにやさしい、交流できるコミュニティスペースがほしい。鍋横は高齢者や子育てファミリーなど、人にやさしい、地域住民が交流・接点をもてるまちづくりを進めてほしい。	(ご意見として承りました。)
防災まちづくり	本町6丁目など木造密集市街地では、建て替え更新を待っていたら、まちの安全が確保できない。そうした地区は区が主導して災害に強いまちづくりを推進すべきだ。	災害危険度の高いまちは、地域で積極的にまちづくりの要望を上げて頂き、地区計画を策定し、まちの安全性向上に積極的に取り組む都市づくり方針を検討します。
	災害に対する危険性を町会等は認識しているが、一般住民は関心が薄い。区は防災まちづくりの必要な地域を周知したり、防災まちづくりの動機付けを行ってほしい。	地域住民の生活に密着したところから、まちづくりに関心をもってもらえるよう考えていきます。
みどり・環境	鍋横地域に住み続けたくるように、まちのみどりを積極的に増やしてもらいたい。	(ご意見として承りました。)
	神田川沿いの緑化やまちの緑化を進めてほしい。実のなる樹木も積極的に植えてほしい。	神田川や幹線道路、学校や公園等の緑など、生き物が生息できる水とみどりの小空間のネットワークなども考えています。

【上高田地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
賑わい・活力	ファミリー層が多く住めるように、建物の高層化が図れるよう検討してほしい。	(ご意見として承りました。)
防災まちづくり	都市計画マスタープランで、上高田地域や新井薬師周辺の木造密集市街地の改善や防災性の向上に関して、一定の方針を盛り込んでほしい。	できるだけ早い時期にまちの安全性を確保できるような都市づくりの方向性について、住民の皆さんの意見を参考としつつ、改定案の中で示していきたいと思えます。
	上高田1丁目にも木造密集市街地は広がっているため、防災まちづくりの対象地域に入れてほしい。	(ご意見として承りました。)
	上高田1丁目から2丁目に抜ける防災性の高い道路があると良い。	(ご意見として承りました。)
	狭あい道路のセットバックを積極的に行うよう、住民への広報も含めて、都市計画マスタープランに盛り込んでほしい。	現行の都市計画マスタープランにも記載されていますが、ご指摘の点を盛り込みたいと考えます。
	地域から逃げないですむ耐震・耐火など安全な建物建築を積極的に誘導してほしい。	(ご意見として承りました。)

みどり・環境	建替えの都度、庭木切られているので、建替え時に植樹を義務づけてほしい。	—（意見提出用紙）
	西武新宿線立体化によりできる土地と妙正寺川を結ぶ親水と緑の回廊を考えるのに役立つ妙正寺川のテーマを提示できないか。	—（意見提出用紙）
	平和の森や江古田の森にある池は、コンクリートで囲まれていて、本当のビオトープと言えない。ぜひコンクリートで囲わないビオトープづくりを進めてほしい。	（ご意見として承りました。）
推進方策	都市計画マスタープランを実効化していくツールとしてまちづくり条例が必要ではないか。	区民によるまちづくりの合意や提案等、地域でまちづくりビジョンを共有できるルールづくりが必要と考えています。

【桃園地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
全般的事項	中野3丁目は、区のまちづくり計画が少ない。小学校、児童館、保育園等が廃止され、公園も少ない。その意味で桃丘小学校跡地を地域コミュニティの交流や緑のある環境教育の場として残してほしい。	（ご意見として承りました。）
賑わい・活力	警察大学校等跡地の計画が、事務所ビルや大学等の建物ばかりで、住宅が全くと、夜は真っ暗で寂しいまちになってしまうので、住宅がもっとあってもよい。	警察大学校等跡地は業務床だけでないよう検討しているところです。大学は夜も社会人用に開講して、夜も明るいまちになるよう、大学と協議していきたい。
	ヨーロッパのように広場を重視し、歩行者が憩え、安心して歩ける空間づくりを行ってほしい。	（ご意見として承りました。）
住環境	住宅地内は、いたずらに建物を高層化しないでほしい。	（ご意見として承りました。）
	大久保通りの北側は、沿道建物の日影の影響を痛切に感じている。幹線道路の後背地の住環境への影響を考えてほしい。	幹線道路沿道の用途地域の段階的な指定等の考え方を盛り込む予定です。
	大久保通り沿いは、北側住宅地の日照確保のため、沿道の容積率を低くしてほしい。	—（意見提出用紙）
道路・交通	狭あい道路の拡幅整備は、道路を広げたら車がどんどん入ってきて困る。	狭あい道路は、消防車も入ることができず、火災等の災害に対して危険です。
	五差路から中野三丁目に抜ける坂道は、車が勢いをつけて走り危険なので、道路にハンパをつけるなどして、スピードを落とすようにしてほしい。	通過交通用の道路と住宅地内の生活道路との役割をしっかりと押えて、騒音防止や通行者の安全を考慮して道路のあり方を検討する必要があります。
防災まちづくり	狭い道路しかないまちでも、火事を出さないように注意している地域もある。いたずらに道路を拡幅しないでほしい。	まちの耐火性や耐震性を高めること、消火活動のしやすさなどの課題を踏まえて、防災まちづくりのあり方を考えていきます。
	耐震、耐火化だけでなく、積極的な緑化をしていくことも防災まちづくりに役立つ。	（ご意見として承りました。）
みどり・環境	桃園地域は公園が少ないので、桃園緑道を拡幅するなどしてオープンスペースの確保に努めてほしい。	（ご意見として承りました。）

みどり・環境	警察大学校等跡地の樹木を残してほしい。	高木については保全・移植し、土地の引渡しがあった時点の1.1倍の本数にするように、事業者と覚書を結んでいます。
--------	---------------------	---

【東部地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
賑わい・活力	シャッター通りとなっている東中野の商店街は、商店の連続性が鍵となる。条例等で1階部分を店舗にする規制をすべきだ。	商店経営者や地元の意向を踏まえ、空き店舗対策など賑わいと活気あるまちづくりの方針を考えていきます。
	住工混在地区に対する施策も賑わい・活気づくりに関係があると思う。	(ご意見として承りました。)
住環境	東中野1丁目地区は緑が多く、閑静で良好な住環境の地域なので、都市計画マスタープランで、この良好な住環境が維持できるよう、積極的な位置づけをしてほしい。	一定の街区単位などで、より良い住環境の保全に向けて、地区住民が協力し合う取り組みに対して支援できるよう、マスタープランに盛り込みたいと考えます。
	マンションに管理人がいることが重要だ。管理人が置くようルール化してほしい。	(ご意見として承りました。)
	単身者用マンションは地域性の問題だ。若者がいて賑わいや活気がある場所があっても良い。いろいろな世代が住める複合都市であってほしい。	(ご意見として承りました。)
	お年寄りが安心して住め、子育て環境や教育環境を整えてファミリーで暮らせるまちづくりを進めてほしい。	区としても今後ファミリー層が暮らしやすい都市づくりを進めていきます。
道路・交通	JR 東中野駅は、西側だけでなく東側もバリアフリーにすべきだ。駅は多人数が利用する公共施設であり、西口だけがバリアフリーで良いという考えはおかしい。	駅の両側をバリアフリーにすることは義務づけられていませんが、東口は坂道や段差がありバリアフリー化の必要性を認識しています。JRにもその旨を話しています。
推進方策	みどりや良好な住環境を守るために協力し合って努力している地域住民の取り組みを区は積極的に支援してほしい。	(ご意見として承りました。)

注) 意見提出用紙の意見は、氷川地区の住環境保全、ワンルームマンション規制、敷地細分化規制、商店街の活性化、東中野駅東口のバリアフリー化が主な内容である。

【大和地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
住環境	家が建て替えられると、宅地が細分化されてしまう。60㎡の最低敷地面積の規制では狭すぎる。	(ご意見として承りました。)
	狭い路地に面して住んでいるが、問題面ばかりでなく、路地空間の快適さも実感している。美しい路地の良さをもっとアピールして残してほしい。	すぐそばに緊急車等の通れる道路が整備される等の災害に対する安全性確保や地区全体での計画性確保等が、路地保全の条件となります。
	日常生活ルールを守れない、管理人のいないワンルームマンションは、住環境悪化につながるので、区の積極的な対応が必要である。	(ご意見として承りました。)

道路・交通	都市計画道路の補助 227 号（大和町中央通り）は、東京都の広域行政の中での、この道路の必要性や位置づけを、地域住民にきちんと説明すべきである。	（ご意見として承りました。）
	都市計画マスタープランで、大規模マンション等の建設時、地域のために道路を拡幅させるよう誘導してほしい。	（ご意見として承りました。）
防災まちづくり	第一に、消防車が入れる幅員の道路をきちんと整備することが大切。住民が不安を感じない道路整備が最低限必要だ。	阪神・淡路大震災では、沿道が不燃化された幅員 6m の道路があれば、延焼遮断や避難路として有効であったとされています。
	災害への安全性を考えると、具体的にどこにどの程度の道路が必要かという目安が必要。また地域のコミュニティ活動による防災まちづくりも重要で、区はその活動をバックアップしてほしい。	（ご意見として承りました。）
みどり・環境	地域のみどりが、どんどん減少している。学校跡地を活用して貴重なみどりが残るようにしてほしい。	まちづくり方針の策定にあたって、学校再編について、地域特性を踏まえて対応していきたいと考えます。

【昭和地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
道路・交通	もみじ山通りは、歩道を広くして歩きやすく使いやすい拡幅整備をしてほしい。	（ご意見として承りました。）
	早稲田通りの歩きにくさが目立つ。歩道が狭く、駐輪自転車が近く、お年寄りが安心して歩けない。	（ご意見として承りました。）
防災まちづくり	狭い道路の拡幅がなかなか進んでいない。拡幅整備したら容積率をアップするなどの緩和策が必要だ。	（ご意見として承りました。）
	近所の火事では、消防車が入れず隣家に燃え移った。駅周辺だけではなく、火災危険度の高い地域から優先的に道路拡幅等の防災まちづくりを進めるべきだ。	木造密集市街地の改善は極めて重要な課題で、区民の生命の安全を守ることは区の責務と認識しています。防災まちづくりを推進したいと考えています。
景観	まちの中に古い看板が放置されて景観上良くない。区は条例等で規制してほしい。	都市計画マスタープランに景観都市づくりの視点を盛り込んでいく予定です。
	どのような景観が良いかは、意見が分かれ合意が難しいと思う。区が主導して一定の基準をつくったらどうか。	（ご意見として承りました。）
推進方策	都市計画マスタープランを実効性のあるものとするため、まちづくりの実現方策、進捗度、解決策を示すべきだ。	（ご意見として承りました。）
	都市計画マスタープランのまちづくり方針を、いかに実現させていくか、実行に向け区民と行政が協働して取り組めるような仕組みを盛り込むべきである。	地区住民の生活に密着した身近な地区ごとの、自主的なまちづくり活動を支援していくことについて、マスタープランに盛り込んでいく予定です。

【新井地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
賑わい・活力	新井薬師前駅から梅照院までの商店街は賑わっているが、その先は寂しくなっている。	(ご意見として承りました。)
	巢鴨や葛飾柴又は門前町として商店が賑わっているが、新井薬師もそうになってほしい。	地域の貴重な資源や歴史を活かして、まちの活性化を図ることは大切だと考えます。
道路・交通	新井薬師周辺の道路は歩道が狭く、お年寄りやベビーカーの通行の安全が課題だ。	(ご意見として承りました。)
防災まちづくり	上高田地域は道路が狭く入り組んでいて迷路のようである。	上高田のような路地が多い木造密集市街地の改善について、都市計画マスタープランで方針を示していく予定です。
その他	新井薬師の昔の名残を残すような、まちづくりをしてほしい。	(ご意見として承りました。)

【上鷺宮地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見	その場での区の回答・見解
全般的事項	都市計画マスタープランで、上鷺宮についてどのような方針が示されるのか、心配だ。開発志向になってほしくない。	(ご意見として承りました。)
	「土地区画整理事業を施行すべき区域」のまちづくりに関しては、計画を白紙撤回したと受け止めているがどうなのか。	「土地区画整理事業を施行すべき区域」については、都市計画マスタープランで、住民・土地所有者の話し合いのもと将来方向を決めると盛り込みます。
	改定のポイントとして「保全・整備の推進」と書いてあるが、「推進」という用語は問題だ。何かを積極的に進める意図を感じる。「保全・整備を目指す」としてほしい。	公園の整備や老朽化した下水の整備、道路の補修、緑化等も「推進」する事項に含まれています。「推進」という表現にこだわりません。
	武蔵台小学校、北中野中学校とともに、四谷商業、武蔵ヶ丘高校を避難場所として都市マスに盛り込むことはできないか。	両地区は離れているために、一体の広域避難場所としての指定はむずかしいと思われます。
	上鷺宮の将来のまちづくりの方向性は地域で話し合っていて決めていくとのことには賛成する。誰の意思で決めるかが問題。町会だけでなく広く住民の意見を聞くべきだ。	(ご意見として承りました。)
住環境	この地域は良好な住環境なので、このままそっとしておいてほしい。	(ご意見として承りました。)
	区画整理と建ぺい率・容積率は別問題。今のままの建ぺい率・容積率で良いと思う。	(ご意見として承りました。)
	地域の環境はこのままで良いと思う人がいる一方で、もっとより良いまちにしていきたいと思う人もいる。より進歩させて皆でより良い方向に改善していくべきだ。	(ご意見として承りました。)
みどり・環境	地域の大切な緑なので、保護樹林はぜひ残してほしい。	木を育てるのは大変です。その一方で、落ち葉などの課題もあります。
	Co2の削減について、都市計画マスタープランに盛り込むことはできないのか。	数値目標として入れるのはなかなか難しいと考えます。
	高齢者が所有する生産緑地は相続等で減ってきている。区としても残すための良い施策を検討してほしい。	生産緑地の保全は、農業後継者や税金等の事情から難しい問題があります。区による買い取りについて検討していきます。

みどり・環境	農地を残していくことには賛成する。農地や緑地保全のために、区はもっと補助金を出すべきだ。	(ご意見として承りました。)
道路・交通	富士見台の駅前通りを車椅子や自転車、車がスムーズに通れるように拡幅し、安心して買い物ができるようにしてほしい。	— (意見提出用紙)

【野方地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見・質問等	その場での区の回答・見解
賑わい・活力	地域の人たちが集まれる広場がない。商店街にも人々が交流し、憩える広場をつくってほしい。	(ご意見として承りました。)
住環境	魅力ある住環境づくりには、路地の魅力も活かすことが大切。防災上の理由から全ての路地を拡幅整備することには反対だ。	幅4m以上の道路でないと建物を建てることはできません。狭あい道路は、安全に暮らすために拡幅が必要です。
防災まちづくり	他区だが、狭い道路に消防車が入ってこられず、1軒の火事から近所に延焼した。路地文化を残すことも大切だろうが、最低限のまちの安全性は確保すべきである。	学校跡地の利用に関しては、地域の要望も踏まえて対応していきます。
	狭あい道路は防災上問題があるので、区は積極的に拡幅整備すべきである。	
	野方3丁目は、神社やお寺がなく、学校以外にはくすみ公園くらいしかない。学校跡地は、防災面も含めてオープンスペースとして残してほしい。	
	木造密集市街地の安全性を高めるため、もっと力を入れて建物不燃化を図るべきだ。	(ご意見として承りました。)
道路・交通	環状7号線に側道をつくり、野方駅周辺とバスターミナルが一体化したまちづくりを行うことが必要である。	(ご意見として承りました。)
みどり・環境	野方は区内でもオープンスペースの少ない地区なので、公園設置をマスタープランに盛り込んでほしい。	(ご意見として承りました。)

【鷺宮地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見・質問等	その場での区の回答・見解
全般的事項	西武新宿線沿線まちづくりは、鷺宮の駅前広場、商店街の活性化、中杉通りの整備など総合的に行う必要がある。	(ご意見として承りました。)
住環境	白鷺一丁目の都営団地周辺は第一種低層住居専用地域なので、建替えて高層化するのをおかしい。中野区で住宅地に絶対高さを設けてほしい。	(ご意見として承りました。)
道路・交通	現在の中杉通りは歩道がとても狭いので、もっと広くしてほしい。	(ご意見として承りました。)
	中杉通りの整備に関しては、もっと区民と十分話し合いをもってほしい。	(ご意見として承りました。)

防災まちづくり	木造密集市街地の整備は、地域にとっても緊急の都市整備課題である。不燃化、狭あい道路の整備をしっかりと行うべきだ。	(ご意見として承りました。)
	妙正寺川は、大雨が降るとたちまち洪水になってしまうので早く 100mm/h に対応する改修を行うべきだ。	(ご意見として承りました。)
みどり・環境	中杉通りの計画線は、区の保護樹林を通る予定である。たくさんの古木や指定樹木がある貴重なみどりなので、残せるようにルート変更も含めて考えてほしい。	中杉通りは近い将来事業化される予定の東京都所管の道路です。整備にあたっては、まちの構造や状況も考慮して考えていく必要があります。
	妙正寺川は、駅に近いところを流れているので、もっと親水性のある河川として整備してほしい。	(ご意見として承りました。)
推進方策	まちづくりを進めるにあたり、皆がある程度我慢をし合い折り合いをつける必要がある。区は、まちづくりの話合いが地域で活発になるよう取り組んでほしい。	(ご意見として承りました。)

【江古田地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見・質問等	その場での区の回答・見解
賑わい・活力	地下鉄新江古田駅ができ、交通の利便性が高まってきた。賑わいづくりが必要だ。	(ご意見として承りました。)
住環境	江古田は、区画整理を実施したので道路や区画がきちんとされて良好な住宅地となっている。良好な住環境を維持してほしい。	(ご意見として承りました。)
	江古田合同住宅の建替えにあたって、日照など周辺環境への影響に配慮してほしい。	(ご意見として承りました。)
道路・交通	目白通りは、交通量が多いので、山手通りのように中央分離帯を緑化してほしい。	山手通りは、幅員 40m であるが、目白通りは幅員 25m 程度なので難しいと思います。
	中野通りを拡幅整備すると、交通量が増え、住環境が悪くなるのが心配だ。周辺環境に配慮してほしい。	(ご意見として承りました。)
	道路整備に関しては、交通量増加の影響も考慮し、まちづくり方針を考えるべきだ。	考慮していきます。
みどり・環境	ランドマークである水の塔は、貴重な風景資産としてまちづくりに活用してほしい。	(ご意見として承りました。)
	上高田公園と哲学堂と江古田の森公園をつなぐ、アメニティと親水性のある水とみどりのネットワークを考えてほしい。	都市計画マスタープランの中で水とみどりのネットワーク形成を盛り込む予定です。

【弥生地域の将来方向に関する意見】

区分	区民の意見・質問等	その場での区の回答・見解
賑わい・活力	新宿区には高層ビルが建ち、接する本町 1 丁目には木造密集市街地が広がる。理由は住居系用途地域だからだ。建替えが促進され地域の安全が高まるように用途地域を緩和すべきだ。	山手通りの東側は、東京都はセンター・コア再生ゾーンとして都心部にふさわしいまちづくりを進めるとしているため、都市計画マスタープランの中でも位置づけを考えます。

住環境	新宿副都心は高層ビルが建ち並んでいても快適な空間と言える。弥生地域の問題は建物が密集していることだ。道路を広げ、公園やオープンスペースをつくれるよう街区再編や建物共同化の取り組みが必要だ。	(ご意見として承りました。)
	人が安心して住むことができる環境づくりが大切。そのためには区画整理のような街区再編が必要だ。	防災性や住環境の向上のために、本町地区で郵政宿舍跡地利用を含め、共同建替えなどのまちづくりをモデル的に進めていきたいと考えています。
	山手通り沿道は高層ビルが建ち並び、その後背地は低層の密集市街地が広がる。このような用途地域の指定は問題がある。	都市計画マスタープランでは、段階的に用途地域の指定ができるよう、まちづくり方針を考えていきます。
	街区再編や建物共同化のまちづくりは、地域住民だけの合意形成で行うことはなかなか難しい。区が間に入って適切なまちづくりの誘導を行ってほしい。	(ご意見として承りました。)
防災まちづくり	この地域に一番大切なことは、道路を拡幅し、防災広場をつくり、震災に強いまちづくりを行うことだ。道路拡幅を主とした街区再編は、区が主導権をもって進めてもらわないとどうにもならない。	中野区のまちづくりの大きな課題の一つは、災害に対する安全の向上です。これは行政が責任をもって主導して進めるべきだと考えます。
	神田川の洪水対策はまだ完了していないと聞く。妙正寺川ばかりでなく、神田川の河川整備もしっかり行ってほしい。	(ご意見として承りました。)
	弥生地域は、狭あい道路が多くセットバックすると家が建替えられない敷地が多い。建替えができるような救済策や、共同建替えへの補助・誘導が必要だ。	(ご意見として承りました。)
みどり・環境	本町地区は、公園がとても少ない地域なので、都市計画マスタープランの中で方針を示してほしい。できれば数値目標も入れてほしい。	都市計画マスタープランは基本的方針なので、具体的な数値目標を入れることは難しいが、道路整備や公共空間の確保など盛り込むよう考えます。
	神田川に、魚道などをつくり、魚が生息できる親水性のある整備を行ってほしい。また、生息する魚を地域センターで展示して環境教育に役立ててほしい。	神田川は景観基本軸として緑と水辺のうるおいある整備が進められています。河川については、災害に強く、親水性ある水辺環境づくりも大切だと考えています。